

平成28年12月19日
福祉保健部健康増進課
衛生指導監 小林早苗
電話 055-223-1494
(内線3502、3511~3514)

報道関係者各位

保育所における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年12月15日(木)、峡東保健所管内の保育所において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け、調査・指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別	保育所	
発症者の状況	児童	22名
	職員	4名
	計	26名

主な症状:嘔吐、下痢、発熱等

発症状況

	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	計
児童	2	4	12	1	0	1	2	22
職員	0	2	1	0	1	0	0	4

(発症者は全員快方に向っております)

調査・指導結果

発症者8名(児童7名、職員1名)の検便と吐物の検査を実施したところ、4名(児童3名、職員1名)からノロウイルスが検出された。

峡東保健所では、検便と吐物の検査結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、児童・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年12月19日
福祉保健部健康増進課
衛生指導監 小林早苗
電話 055-223-1494
(内線3502、3511~3514)

報道関係者各位

保育所における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年12月16日(金)、峡東保健所管内の保育所において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け、調査・指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別	保育所	
発症者の状況	児童	23名
	職員	4名
	計	27名

主な症状: 嘔吐、発熱、下痢、腹痛等

発症状況

	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	計
児童	2	0	2	4	3	7	3	2	23
職員	0	0	0	0	3	1	0	0	4

(発症者は全員快方に向かっております)

調査・指導結果

発症者15名(児童11名、職員4名)の検便と吐物検査を実施したところ、10名(児童7名、職員3名)からノロウイルスが検出された。

峡東保健所では、検便および吐物検査の結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、児童・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年12月19日
福祉保健部健康増進課
衛生指導監 小林早苗
電話 055-223-1494
(内線3502、3511~3514)

報道関係者各位

小学校における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年12月15日(木)、峡東保健所管内の小学校において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け、調査・指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別	小学校		
発症者の状況	児童	32名	
	職員	2名	
	計	34名	

主な症状: 嘔吐、下痢、腹痛、発熱等

発症状況

	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	合計
児童	6	8	4	7	2	4	1	32
職員	1	0	0	1	0	0	0	2

(発症者は全員快方に向かっております)

調査・指導結果

発症者5名(児童)の検便を実施したところ、5名全員からノロウイルスが検出された。峡東保健所では、検便結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、児童・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年12月19日
福祉保健部健康増進課
衛生指導監 小林早苗
電話 055-223-1494
(内線3502、3511~3514)

報道関係者各位

障害者施設における感染性胃腸炎の集団発生について

平成28年12月15日(木)、富士・東部保健所管内の障害者施設において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け、調査・指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別	障害者施設	
発症者の状況	利用者	29名
	職員	9名
	計	38名

主な症状:嘔吐、下痢、腹痛、発熱

発症状況

	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	合計
利用者	1	2	1	2	2	4	4	2	7	4	0	29
職員	0	1	0	0	1	3	0	0	1	2	1	9

(発症者は全員快方に向かっております)

調査・指導結果

発症者7名(利用者5名、職員2名)の検便を実施したところ、7名(利用者5名、職員2名)からノロウイルスが検出された。

富士・東部保健所では、検便結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、利用者・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

平成28年12月19日
山梨県福祉保健部 健康増進課
衛生指導監 小林 早苗
055-223-1494(内線3502、3511～3514)

ノロウイルスの集団感染事例について

本日、峡東保健所管内の保育所(2ヶ所)及び小学校(1ヶ所)、富士・東部保健所管内の障害者施設(1ヶ所)の計4ヶ所においてノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました。本県の、今シーズンの感染性胃腸炎の集団発生状況は次のとおりとなっております。

内訳		件数	患者数()
保育所・幼稚園等		8 件	301 名
小学校		3 件	105 名
高齢者介護施設		0 件	0 名
その他		3 件	82 名
合計		14 件	488 名

現時点での暫定値となります。

件数・患者数は今回の事例を含んでいます。

[参考]平成27年～28年シーズン同時期の状況 (初発は11/18～)	1 件	149 名(確定値)
--	-----	------------

ノロウイルスの感染予防

トイレの後・食事前・調理前等は流水と石けんによる手洗いをしっかりと行う。
(手を洗った後のタオルは使い回しをせず、1回限りの使い捨てタオルが望ましい。)
患者の嘔吐物や下痢便を処理するときは、手袋、マスク、エプロンを着けて処理し、塩素系消毒剤で消毒をする。

食品は十分に加熱する(85～90℃ 90秒以上)。

生で食べる食品(果物、生野菜など)は十分に洗浄する。

調理器具は十分に洗浄し、熱湯(85℃以上)で1分以上加熱する。

健康増進課ホームページも併せてご覧下さい

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/75970716572.html>